

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students

プロフィール (Profile)

氏名 (Name) Shota Koishi
所属 (School) 工学域 機械系学類
学年 (Grade) first grade

留学先 (Name of overseas institution)
University of Malaya

留学期間 (study abroad period)
2020/2/16~2020/3/8



留学レポート Study Abroad Report

はじめに

私は 2/16~3/8 までの約三週間マラヤ大学主催の SEP に参加しました。そのきっかけは、留学をしたいと言っている友人が I-wings で留学の話聞きに行くというので、なんとなくついて行ってみたという軽いものでした。ですが、実際に説明を受けてみるとマラヤ大学はこんなにも素晴らしい大学なのか、そしてこの機会を逃してはならないと思いこのプログラムに参加することにしました。皆さんも I-wings に足を運んでみると、思いもよらないきっかけがあるかも知れません。

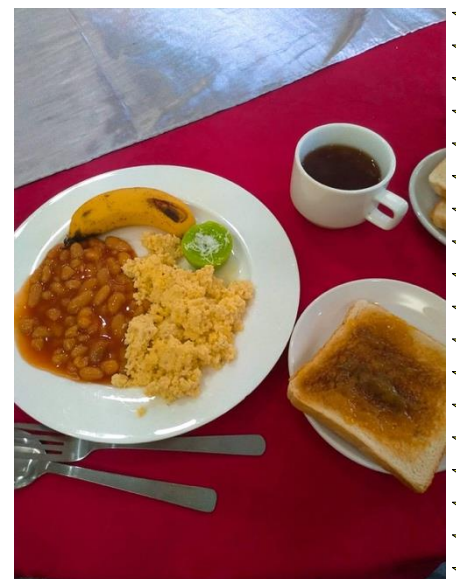
プログラムの概要

このプログラムの間宿泊することになる寮ですが、SEP に参加した大学（今回は大阪府立大学、関西学院大学、岡山大学、静岡大学、福井大学）の中から三人選ばれ、それにマラヤ大学から一人パディとして加わって、四人一部屋で生活します。また寝室は二部屋を二人ずつで使用します。また午前は英語の授業が二コマ、午後はマレーシアの文化体験 or アクティビティがあります。食事は朝食、昼食、アフタヌーンティーは大学で摂り、夕食は現地パディに行きたい店に連れて行ってもらえます。

一日の流れ

朝は 7:00 ごろに起床します。寮から大学へのバスの出発が 7:50 でたまに遅れたりすることがありますが、マレーシア人は基本時間にルーズなので基本出発は結局 8:00 頃になるので基本間に合います。自分のパディはいつも 6:30 くらいに起きていますので、理由を聞いてみるとパディはイスラム教徒で、イスラム教徒は日の出前、昼過ぎ、日本でいうおやつの時間、日没後、就寝前の一日 5 回メッカに向かって礼拝をしなければならず、早朝に起きていたのはこのためです。また、メッカの方向をきちんと向いていないと無効になるらしいので、メッカの方角を指す方位磁石を持っているということには非常に驚きました。

そして 8:15 ごろにバスがマラヤ大学に到着し、8:20 頃に朝食が始まります。朝食（右写真）はピュッフェ簡単なマレーシア料理や日本でも食べるコーンフレークやパンが出されます。ジャムはピーナッツバター、ブルーベリー、マレーシア特産の kaya ジャムなどがあり、種類が豊富でとても美味しいです。また飲み物は紅茶やコーヒーが選択できます。



朝食が終わると 9 時から授業が始まり昼食までに二コマの授業を受けます。一コマ目は 9:00~11:00、二コマ目は 11:30~13:30 です。研修プログラムでの午前の授業は、“Writing and Composition”, “Grammar Usage”, “Reading and Vocabulary”, “Speaking and Pronunciation” という 4 種類の英語科目と、マレーシアの地域や文化、宗教について理解する “Malaysian study” がありました。これらの 4 授業を毎日日替わりで受け、“Malaysian study” は週に一回受けることになります。またこれらの 4 授業にはクラス分けがあり、初日に受けるプレースメントテストをもとに三クラスに分けられます。1 ク

ラス20人くらいで、様々な大学が混じっているので、仲良くなると他大とのつながりも増えます。

Writing and Composition, Grammar Usage, Reading and Vocabulary, Speaking and Pronunciation の4

授業は、座学だけを受けるというよりは、授業の始めと中盤に授業内容と絡めたアクティビティを導入してその間に座学の授業を入れていたので、集中が途切れることが少なく、授業を楽しむことができました。また、授業はすべて英語で行われるので、授業中に先生に聞かれた問いの意味が理解できなかったり、どう返答したらいいか困ったりして、たくさん失敗しました。ですが、こちら側に伝えようとする意思があれば先生は聞こうとしてくれるので頑張れました。また、授業に参加してくれるバディの方もサポートしてくれたのでなんとか乗り切ることができました。

Malaysian study は主にマレーシアの文化について学びます。二週目に二日間、マレーシア人の家にホームステイをするのですが、その為のいい準備になりました。挨拶の仕方、簡単なマレー語、タブーなど様々なことを学ぶことができました。

授業が終わると次は昼食です。昼食は13:30~14:30までで、主にスパイシーなマレー料理（右写真）が出ます。またお腹を壊している時や、辛いものが特に苦手な場合は、別の料理を買ってきてくれます。自分はマレーシアに来て一週間ほどでお腹を壊してしまったので、おかゆを数日間デリバリーしてもらいました。基本的にチキンとタイ米のライスと野菜が少々、果物があり、量は自分で調節できます。



昼食が終わると14:30~16:30まで、マレーシア伝統体験が劇をします。マレーシア伝統体験は、ダンスパートと音楽パートに分かれ、ダンスパートはマレーシアの伝統の踊りをし、音楽パートはマレーシアの伝統の音楽を演奏します。そして最後のクロージングセレモニーで現地の高校生に披露します（今回はコロナウィルスの影響でバディと日本人だけでやった）。自分はダンスパートで、マレーシア独特のリズムや滑らかさを表現するのに苦戦して、みんなで夜に集まって練習をしたのも良い思い出です。

また、劇の方はアクターとダンサーに分かれ、アクターは劇の登場人物となりストーリーを進め、ダンサーは、課題曲の振り付けを自分たちで考え、それを劇中に披露します。劇は同じくクロージングセレモニーで披露します。これも自分はダ

ンサーの方を選択していて、伝統ダンスと違って振り付けを考えなければならないので、時間が足りなくて授業の休み時間や夜に集まったりして振り付けを考えて、ギリギリ完成しました。

クロージングセレモニーでは劇のダンスが自分たちで考えた振り付けのため、非常に不安でしたが、クロージングでレモニー中でいちばんの盛り上がりとなり、非常に楽しかったです。

最後に16:30~17:30までアフタヌーンティーの時間があります。マレーシアは過去にイギリスの植民地だったので、その文化の名残からかティータイムが存在します。マレーシア伝統のお菓子やケーキなどが出され、紅茶やコーヒーと非常に合うのでいつもこの時間を楽しみにしていました。ただ緑色のスポンジ状のものには気をつけたほうがいいです（笑）

アフタヌーンティーが終わると寮に戻り、自由時間となります。夕食は、バディがGrabで美味しいご飯屋さんに連れてってくれたり、毎週金曜日に寮の近くで開かれるナイトマーケットでご飯を購入し、寮の部屋に大勢で集まって食べたりします。それが終わると、近くのコートでバドミントンをしたり、ドッチボールをしたり、はたまた寮でトランプをしたりとみんなバラバラです。



最後に

三週間の留学はあっという間でした。元話しておけばよかったな、もっと英語を積極的に使えばよかったなど後悔は数え切れません。ですが、この留学という機会に様々な友人であえ、生きた英語に触れることができました。今回の留学だけではあまり英語が話せるようになれませんでした。そのことが逆に今の英語の勉強のモチベーションとなっています。自分はバディともしっかり話せるようになりたいという英語へのモチベーションを見つ